

精神障がい者の就労支援IPS研修

服薬が多くても、入院が頻回でも、働ける時間が短くても、働きたい！

こんな希望がある方を、どのように支援すればよいのでしょうか。

「精神疾患があっても充実した人生は過ごせる」。そう語る当事者も講師に迎えて、ワークショップも交えた就労支援IPS研修を実施します。

IPS研修の概要

IPS (Individual Placement and Support) は、精神障害のある人の科学的根拠に基づいた援助付き雇用モデルです。利用者の興味、関心などストレングスに着目し、多職種チームアプローチなどを特徴としています。今回、その魅力と方法を県内の関係機関の皆さんとも共有し、協働して彼らのリカバリーを手助けしていくためのつながりを持つことも研修の目的としています。

日時：平成30年10月13日（土）
13:30～16:30（13:00～受付）

講師：
リカバリーキャラバン隊
中原さとみ（リカバリーキャラバン隊事務局長、
桜ヶ丘記念病院 PSW、
米国 IPS センター認定 IPS スーパーバイザー）
堀川正志、中村孝（リカバリーキャラバン隊）

内容：
▶ IPS についての概論と実際のプログラムについて
▶ 私のリカバリー体験
▶ 質疑応答

対象：
精神障がい者を支援している方

会場：ヴィストキャリア富山中央
富山県富山市神通本町2丁目2-16
アグロスタワー富山駅前1階

定員：20名

費用：無料

申し込み：お名前、ご所属、電話番号を以下の方法でご連絡ください。駐車場が必要な方はその旨もご連絡ください。当日、無料の駐車場をご案内致します。

Eメール：career.toyama.c@visst.co.jp

電話：076-471-8773

FAX：076-471-8774 担当：中谷まで

【NHK ハートネット：中原さんへのインタビュー記事より】

「精神障害者の雇用を促進する上で重要なキーワードは「リカバリー」です。プログラムでは、病状の回復だけではなく、地域で暮らすこと、ふつうの社会生活を送ること、仕事に復帰すること、人間関係を再生すること、すなわち「人としての尊厳や未来への希望を取り戻す」ことすべてを意味します。従来の精神障害者の「回復」は、長期間の治療の後に薬の服用がなくなること、入院や通院がなくなることなどを意味していましたが、現在は治療と並行して、社会生活や職業生活も継続し、充実した人生を送る「リカバリー」を「回復」とする考え方が精神医療の現場で広がってきています。」

【ヴィストの中谷より】以前、働きたくて就労移行を利用しはじめた人が集団に参加できなかつたり、来所できなくなると「時期尚早なのでは？」「他で土台を作ってから」という意見が出ることもありました。そうではなくて、**他と一緒に**、社会とつながりながらリカバリーしていく方法はないのか、模索しながら支援していく中でたどり着いたのが個別就労支援とIPSの中原さんの本でした。富山県でIPSの実践と効果を直に聞くまたとない機会を、関係機関の皆さんと共有したいと思っています。

